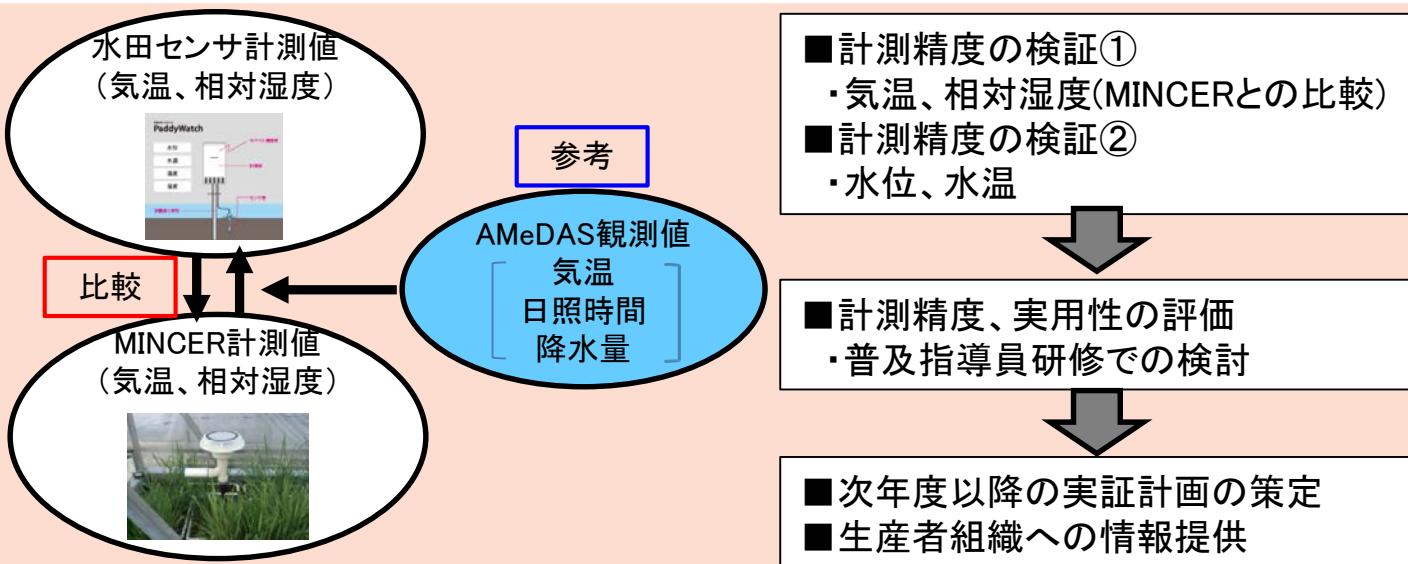
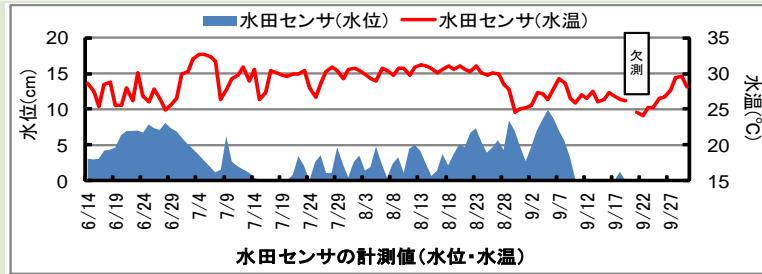
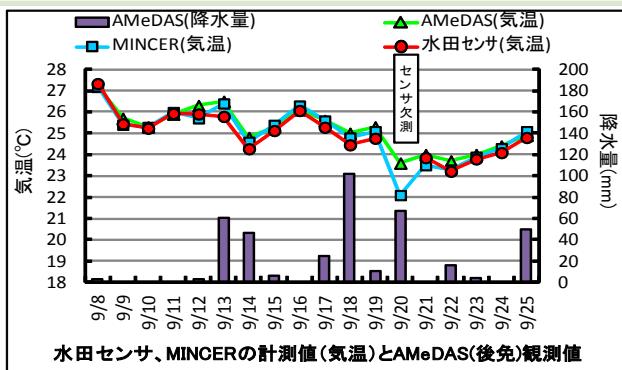


- 大規模稻作農家では管理圃場数が増加し、水管管理は大きな負担。
- 他方、ブランド産地内での食味・品質の高位平準化、圃場間差の是正には、栽培法(施肥法等)の統一や適正な管理が重要。
- 水田環境(気温、水温、水位等)が同時に計測でき、情報がリアルタイムで提供される「水田センサ」に対する生産者の高い関心。
- 省力化、食味・品質の高位平準化への寄与が期待される「水田センサ」の計測精度を検証し、その高い計測精度を確認。

実証の取組イメージ



実証の成果



■水田センサとMINCERの計測値は概ね一致。

- ・水田センサの計測精度が高いことを確認
- ・降雨のあった日は、水田センサではMINCERに比べて気温が低く、相対湿度が高い傾向

■水温、水位も高精度で計測。

- ・欠測となったのは109計測日のうち1日

革新支援専門員の活動

■農業技術センターと連携したデータ収集(複数の計測機器の使用)

■普及指導員研修での計測精度の検討と生産者組織への情報提供